Ｒ7.6.14定時評議員会 報告事項１

令和6年度

（2024）

社会福祉法人　やすらぎ会

事業報告書

**令和6年度　総括**

介護報酬改定や感染症予防をはかりつつ、昨年度に改善した法人プラス収支維持を目指して、3つの基本方針にも基づく事業運営をはかった。3つの基本方針に関して、安定した法人運営では、介護報酬改定に対応しつつ、法人内各事業では収支安定を目指した計画書作成のもと施設整備や外国人労働者定着にむけた整備の計画化、事業継続計画や非常災害計画に関する研修および訓練実施、食事サービス充実にむけた委託業者検討などをはかった。また、質の高いケアの提供、人材育成と魅力ある職場作りでは、LIFE（科学的介護情報システム）にかかる課題抽出や有効活用方法の検討、接遇マナーや階層別研修などの研修実施、生産性向上や虐待防止に資する委員会の設置、協力医療機関との連携強化などをはかった。さらに、地域福祉の推進では、地域福祉関連事業（住まいの生活支援事業、生活支援体制整備事業、法人後見事業）の運営推進や地域福祉推進にむけた法人内施設の連携強化、グランドゴルフ等地域住民交流機会の増加をはかった。

　また、昨年度では、約4,000万円のプラス収益となったが、修繕および物価高騰に伴う支出増加や1月～3月にかけて入所系施設の稼働率低下が生じた一方、物価高騰対策支援事業・処遇改善支援・他補助金助成金が受給できたことにより、今年度の事業活動計算書における当期活動増減差額は約960万円、資金収支計算書における当期資金収支差額は約600万円のプラス収支となった。

　さらに、天理市食の自立支援事業（配食事業）について、配達員の安定的確保が行えないことより、今年度（令和7年3月末）をもって事業撤退をはかることになった。

　加えて、令和6年7～8月、令和7年1～3月には入所系4施設（ケアハウス、グループホーム2施設、特養2～4F）にて利用者および職員への新型コロナおよびインフルエンザ（令和7年1月特養3F）感染事案があり、事業計画に定めていた　法人事業の横断分析、事業所間交流の一部、人事考課評価の更新、地域住民参加による災害時避難訓練や研修の実施がはかれなかった。

　次年度では、これらを推進しつつ、法人マイナス収支改善をはかること、質の高いケアを顧客と地域に提供できるよう事業推進することを目指して、総括に移る。

　まず、法人内入所系4施設および短期入所生活事業における稼働率は後述の通りである。特養では、入所待機者数が減少傾向である一方で、中重度介護度をもつ利用者の看取り介護による退所が特に1月～3月にかけて続き（退所13件のうち10件）、稼働率が大きく低下した。

また、短期入所生活介護では、新型コロナ感染等感染予防対応の変更や営業活動等により平均稼働率が上昇した。次年度では、特養での申込待機者増加にむけた関連事業所への営業活動の継続、医療機関との更なる連携強化が求められる。また、グループホームむつみあい では、年度末時点で2床の空床があり、グループホームなごみ筒井では、年度末時点で満床であるものの、慢性的な入所待機者不足もあり、引き続き入居待機者増加にむけた関連事業所への定期的な営業活動等が求められる。さらに、ケアハウスでは、稼働率自体は安定しているが、入居待機者不足により、今後も入居待機者増加にむけた具体的取り組みが求められる。

　次いで、在宅各事業においては、居宅介護支援事業所の実績件数は増加したものの、訪問入浴の実績件数が減少している。

　さらに、住まいの生活支援事業と天理市生活支援体制整備事業では昨年度の倍以上の成約件数となっている。

　総じて、令和6年度のスローガンを「互い立て合い たすけ合い の実践」と掲げて、職員個々が法人理念に基づく『主体的に他者を思いやり、互いに助け合う』精神をもって顧客や地域に対して誠意をもって尽くしてきた姿が、やすらぎ会への信頼と実績の証であることを認識し、令和6年度事業の総括としたい。

**令和6年度　事業計画　推進項目の検証**

「安定した法人運営」における5点の推進項目

1. **経営基盤の安定化**

昨年度改善した法人黒字経営を維持するため、法人中長期計画や介護報酬改定に対応しつつ、事業管理者を主とした収入増加と支出減少にむけた具体的施策を講じることになっていた。これに関して、事業別年度計画書に介護報酬改定と収支安定にむけた対策を明記したうえで、専門会議（8：30会議）により収支改善にむけた事業毎取り組みの共有と方向性を検討し、各事業所内伝達と周知をはかった。しかし、修繕および物価高騰に伴う支出増加や1月～3月にかけて入所系施設の稼働率低下が生じた一方、総括記載通り各種補助金助成金が受給できたことにより、今年度の事業活動計算書における当期活動増減差額及び資金収支計算書における当期資金収支差額はいずれもプラス収支となった。また、法人事業収支における縦断分析は実施していたものの横断分析は実施できなかった。次年度では、収支改善にむけて法人資産運用や物価高騰に対する具体的施策を実施していきたい。

②　**財政と運営の適正管理**

　　事業管理者と財務担当者が事前協議にて次年度予算を作成し、事業毎の整備計画を作成することで財政と運営の適正管理や施設建物や主要設備の老朽度調査はかることになっていた。これに関して、事業毎の老朽度確認による整備計画を年度計画に明記したうえで各事業管理をはかり、事業管理者と財務担当者による事前協議をしたうえで令和7年度予算作成を行った。次年度でも、事業管理者と財務担当者との事前協議による次年度予算作成と認証および法定上必要な研修実施体制をより構築していきたい。

③　**顧客満足追及の推進**

法人内事業において顧客満足度の向上をはかるため、事業毎に顧客に対するアンケートの実施と食事サービス充実にむけた委託業者検討も含めた食事内容の精査を実施することになっていた。これに関して、実施可能な事業にて顧客アンケートを実施し、食事サービスについては現委託業者より顧客に対するヒアリング等の実施や他業者の試食会を実施した。次年度では、引き続き顧客アンケート結果に基づく課題への取り組みを実施していきたい。

④　**感染症や災害の対応力向上**

感染症や災害に関する業務継続計画や非常災害計画に基づく研修や訓練を実施し対応力向上をはかることになっていた。これに関して、災害に関する研修や訓練を8月、10月、令和7年2月に実施した。また、感染症に関する研修や訓練について、令和7年2月に実施した。年度内に複数の法人内事業所でコロナおよびインフルエンザ感染症罹患事案が発生しており、次年度では、協力医療機関との連携等により感染症対応強化をはかっていきたい。

⑤　**人材定着への取り組みの推進**

人材定着にむけて外国人労働者定着にむけた整備や事業所間交流、人材育成計画作成を行うことになっていた。これに関して、外国人労働者定着にむけた整備では担当者による定期的面談や外部サービスを活用した育成システムの導入検討、介護福祉士資格取得

にむけた支援検討を行った。また、事業所間交流については、令和7年2月に階層別研修を管理者層およびチームリーダー層向けに実施した。さらに、人材育成計画については人事評価後の考課者と被考課者の面談にて次年度方向性を検討してもらった。次年度では、職層別研修実施や人材育成計画作成、多様な人材確保にむけた取り組みをはかっていきたい。

「質の高いケアの提供、人材育成と魅力ある職場作り」における5点の推進項目

①　**質の高いケア提供にむけた取り組み**

法人職員が質の高いケアが提供できるよう、LIFE（科学的介護情報システム）にかかる課題抽出と有効活用、接遇マナーや認知症ケア向上にむけた研修実施、職種毎で業務成果が発表できる場の検討を行うことになっていた。これらに関して、LIFE（科学的介護情報システム）については活用できる程の有益なフィードバック情報は得られていない。また、接遇マナー研修や認知症ケア向上の研修は法人内数位事業所にて実施すみ。職種毎で業務成果が発表できる場については令和7年2月会議にて検討したが次年度以降に持ち越しとなった。次年度では、専門医連携による認知症ケア向上にむけた取り組みの検討や業務成果発表の場の検討をはかっていきたい。

②　**医療機関の連携強化**

　　顧客に対して安定した医療ケアが提供できるよう、協力医療機関等との連携体制の構築を推進することになっていた。これに関して、運営基準上必要な事項を含む協定書を県内3病院（天理よろづ相談所病院、奈良東病院、奈良春日病院）と取り交わすことができた。次年度では、介護報酬算定可能な医療連携体制の構築をはかっていきたい。

③　**高齢者虐待防止の推進**

　　顧客の人権擁護と虐待防止推進の観点より高齢者虐待防止措置にかかる委員会活動および関連研修実施を推進することになっていた。これに関して、事業所毎で関連委員会会議および研修を実施した。

④　**生産性向上の促進**

　　業務上での職員の心身負担軽減や業務効率化と生産性向上をはかるための業務改善をはかることになっていた。これらに関して、『抱えない介護』では事業所内関連会議を通じて介護機器の情報共有や関連機器の使用促進などを行った。また、メンタルヘルス向上にむけた法人内整備については7月に職員にむけたストレスチェック実施し業者による分析を実施した。さらに、『顧客安全、介護サービスの質確保、職員の負担軽減に資するもの』では入所系施設を対象として専門委員会（生産性向上委員会）を設置し運営をはかった。次年度では、生産性向上委員会活動の更なる推進をはかっていきたい。

⑤　**魅力ある職場づくりにむけた取組み**

　　職員個々が働きがいを感じながら活気ある職場を目指して、階層別研修の実施や人事考課評価の更新、個別研修プログラム内容の検討等をはかることになっていた。これらに関して、階層別研修については令和7年2月に一部階層を対象とした研修を実施した。また、人事考課評価と個別研修プログラム内容検討については職員会での協議を通じて更新および検討にむけた職員アンケートを実施した。次年度では、職員アンケート結果に基づく人事考課評価更新と個別研修プログラム検討をはかっていきたい。

「地域福祉の推進」における5点の推進項目

①　**地域福祉関連事業の安定化**

地域福祉増進にむけて、住まいの生活支援事業、生活支援体制整備事業、法人後見事業運営推進をはかることになっていた。これらに関して、関連会議（地域福祉推進会議）等を通して運営状況の確認と共有等をはかり互助の意識づけができた。

　②　**地域福祉推進にむけた法人内事業所連携の推進**

　　　地域福祉推進のために法人内事業間の連携強化にむけた仕組みづくりを検討、実施することになっていた。これに関して、関連会議での具体的検討にまでは至らず、次年度では関連会議等にて、地域福祉推進にむけた公益的取り組み等を検討したい。

③　**法人内施設機能活用による地域住民交流の推進**

　　感染症対策をはかりつつ、法人内施設機能を活用した地域住民との交流機会を推進することになっていた。これに関して、7月と10月にニコニコ広場においてグランドゴルフ大会を実施したほか、生活支援体制整備事業関連にてモルック体験を実施した。加えて、福住中学校との交流機会を令和7年2月に予定したが降雪のため中止となった。

④　**防災にかかる地域住民との連携強化**

　　地域での災害発生時において地域住民と円滑な連携がはかれるよう地域住民参加による災害時避難訓練や研修等を検討、実施することになっていた。これに関して、消防署や日本赤十字社等と協働による実施を検討したが、日程等の都合が合わず実施できなかった。次年度では、年度早期での実施にむけて調整をしていきたい。

**１．事業内容**

(１)　第１種社会福祉事業

　　(ア)　特別養護老人ホームやすらぎ園の経営

　　(イ)　軽費老人ホームケアハウスやすらぎの経営

(２)　第２種社会福祉事業

　　(ア)　老人短期入所事業（やすらぎ園）の経営

　　(イ)　老人居宅介護等事業の経営

　　(ウ)　老人介護支援センター　在宅介護支援センターやすらぎの経営

　　(エ)　グループホームむつみあいの経営

　　(オ) グループホームなごみ筒井の経営

（３）　公益事業

(ア)　訪問入浴介護事業の経営

(イ)　居宅介護支援事業の経営

(ウ)　地域支援事業（天理市東部地域包括支援センター・天理市生活支援体制整備事

業）の経営

(エ)　介護予防支援事業の経営

(オ)　住まいの生活支援事業の経営

　　(カ)　障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業の経営

(キ)　介護予防・日常生活支援総合事業の経営

(ク)　法人後見事業

**２．理事会・評議員会・監事監査等開催**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 月 | 会　　　議 | 内　　　　　　　　容 |
| ５ | 監 事 監 査  理　事　会 | 監事による令和5年度の法人運営及び会計について  第１号議案：２０２３年度（令和５年度）計算書類（賃借対照表及び収支計画書）及び財産目録の承認について 第２号議案：監事監査（２０２３年度事業について令和６年５月２８日実施）の報告及び第一号議案承認の場合の社会福祉充実残額について 第３号議案：２０２３（令和５）年度事業報告書案の承認について 第４号議案：２０２４年度（令和６）年度定時評議員会の開催及び招集について 第５号議案：社会福祉法人やすらぎ会における介護職員等処遇改善加算の支給規定案について及びこれに基づく給与規定の変更案について |
| ６ | 定時評議員会 | １号議案 ２０２３（令和5）年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について |
| ９ | 理　事　会 | 決議事項なし  定時報告事項 １．理事長の職務執行状況について（令和６年５月２９日～９月６日） ２．必要に応じた各理事の職務執行状況について |
| １２ | 理　事　会 | 第1号議案：２０２４年度中間決算報告、第一次補正予算案と今後の対策等について  第2号議案：資産運用規程（案）について  第3号議案：天理市「食」の自立支援事業の今後について |
| ２ | 書面理事会 | ケアハウスやすらぎ ケアコール入替工事について |
| ３ | 理　事　会 | 第１号議案：２０２４年度第二次補正予算案について  第２号議案：２０２５年度事業計画案及び当初予算案について  第３号議案：就業規則・給与規定の変更案について  第４号議案：次期評議員選任候補者推薦案について及び評議員選任解任委員会の招集について |

**３．入所系施設　感染症等罹患状況**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **施設** | **階** | **令和6年度** |
| 特養 | 2F | コロナ感染：①8/31～9/6　入居者1名　②3/17～4/3　入居者13名、職員2名 |
| 3F | インフルエンザ感染：①1/4～1/15　入居者12名、職員2名　②2/5～2/11職員1名  コロナ感染：2/11～2/17　職員1名 |
| 4F | コロナ感染①7/29～8/8　入居者1名、職員3名　②1/14～1/27　入居者6名、職員2名　③2/1～2/23　入居者10名、職員2名　④3/29～4/5　職員1名 |
| ケアハウス | | コロナ感染：7/23～8/2　入居者1名 |
| ＧＨむつみあい | | コロナ感染：7/30～8/4　職員1名 |
| ＧＨなごみ筒井 | | コロナ感染：2/21～3/2　入居者6名、職員5名 |

**3．事業別稼働率及び事業内容**

(1)第一種社会福祉事業

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 特養 | **令和6年度** | **令和5年度** | | **令和4年度** | 摘要 |
| 退入所件数 | 退37件  入38件 | 退37件  入37件 | | 退27件  入34件 | 件数横ばい  件数増加 |
| 延在園日数 | 33,904日 | 34,199日 | | 33,210日 | 日数減少 |
| 延入院・外泊人数 | 85人 | 75人 | | 62人 | 人数増加 |
| 延入院・外泊日数 | 905日 | 926日 | | 592日 | 日数減少 |
| 平均稼働率 | 92.89% | 93.44% | | 90.99% | 率減少 |
| 平均要介護度 | 3.66 | 3.74 | | 3.70 | 介護度減少 |
| ケアハウス | **令和6年度** | | **令和5年度** | **令和4年度** | 摘要 |
| 退入居件数 | 退3件  入3件 | | 退1件  入1件 | 退2件  入2件 | 件数増加  件数増加 |
| 延在居日数 | 3,650日 | | 3,650日 | 3,650日 | 日数変化なし |
| 平均稼働率 | 100％ | | 100％ | 100％ | 稼働率変化なし |

(2)第二種社会福祉事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 短期入所生活介護 | **令和6年度** | **令和5年度** | **令和4年度** | 摘要 |
| 延利用件数 | 523件 | 669件 | 560件 | 件数減少 |
| 延在園日数 | 3,391日 | 3,223日 | 2,877日 | 日数増加 |
| 平均稼働率 | 92.9% | 88.06% | 78.82% | 率増加 |
| 平均要介護度 | 2.61 | 3.09 | 3.38 | 介護度減少 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 居宅介護支援 | **令和6年度** | **令和5年度** | **令和4年度** | 摘要 |
| 実績延件数 | 1,281件 | 1,155件 | 938件 | 件数増加 |
| 介護支援専門員数 | 2.0人 | 2.6人 | 2.3人 | 人数減少 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| グループホーム　　むつみあい | **令和6年度** | **令和5年度** | **令和4年度** | 摘要 |
| 退入所件数 | 退4件  入4件 | 退3件  入3件 | 退2件  入2件 | 件数増加  件数増加 |
| 延在所日数 | 5,656日 | 6,467日 | 6,377日 | 日数減少 |
| 平均稼働率 | 86.79% | 98.61% | 97.06% | 率減少 |
| 平均要介護度 | 2.97 | 2.87 | 2.65 | 介護度増加 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| グループホーム　　なごみ筒井 | **令和6年度** | **令和5年度** | **令和4年度** | 摘要 |
| 退入所件数 | 退1件  入1件 | 退0件  入1件 | 退2件  入2件 | 件数増加  件数横ばい |
| 延在所日数 | 3,061日 | 3,142日 | 2,609日 | 日数減少 |
| 平均稼働率 | 91.96％ | 92.90% | 79.42% | 率減少 |
| 平均要介護度 | 3.19 | 3.21 | 3.17 | 介護度減少 |

(3)公益事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 訪問入浴介護事業 | **令和6年度** | **令和5年度** | **令和4年度** | 摘要 |
| 実績延件数 | 1,988件 | 2,234件 | 2,310件 | 件数減少 |
| 稼働職員常勤換算数 | 5.42人 | 5.36人 | 5.05人 | 職員増加 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 配食サービス | **令和6年度** | **令和5年度** | **令和4年度** | 摘要 |
| 実績食件数 | 630件 | 556件 | 540件 | 件数増加 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 天理市東部地域包括支援センター | **令和6年度** | **令和5年度** | **令和4年度** |
| 介護保険制度及び福祉サービスの総合相談・高齢者虐待・権利擁護・成年後見の相談 | 〇総合相談  延べ　1,206件  〇高齢者虐待相談・支援3件  〇権利養護、成年後見 相談・支援  延べ34件 | 〇総合支援  　延べ2,561人  〇高齢者虐待相談・支援0件  〇権利養護、成年後見 相談・支援  延べ89件 | 〇総合支援  　延べ2,308人  〇高齢者虐待相談・支援3件  〇権利養護、成年後見 相談・支援  延べ98件 |
| 介護予防支援及び介護予防・日常生活支援総合事業等介護予防業務 | ○介護予防ケアマネジメント　年間プラン作成数　2,107件（自法人949人、委託1,158件）  ○C型サービス作成2件  ○高齢福祉サービスによる安否確認3件  ○高齢福祉サービス相談116件  ○認知症サポーター養成講座1回開催  ○介護予防普及啓発2件（健康に関すること、通いの場維持、重度化防止に関する教室） | ○介護予防ケアマネジメント　年間プラン作成数　3,034件（自法人1,974人、委託1,060件）  ○C型サービス作成2件  ○高齢福祉サービスによる安否確認8件  ○高齢福祉サービス相談770件  ○認知症サポーター養成講座0回開催  ○介護予防普及啓発8件（健康に関すること、通いの場維持、重度化防止に関する教室） | ○介護予防ケアマネジメント　年間プラン作成数　2,949件（自法人1,885人、委託1,064件）  ○C型サービス作成13件  ○高齢福祉サービスによる安否確認20件  ○高齢福祉サービス相談212件  ○認知症サポーター養成講座1回開催（二階堂地区）  ○介護予防普及啓発11件（地域医療や重度化防止、通いの場づくり等に関する教室開催） |
| 包括的・継続的ケアマネジメント | 〇困難支援  〇動機づけ支援『ロバの耳』相談はなかったが、関係者相談を行った。 | ○困難支援への助言・指導　年間154件  ○動機づけ支援『ロバの耳』相談はなかったが、地域ケア会議内困難ケース共有支援は3件実施 | ○困難支援への助言・指導　年間278件  ○動機づけ支援『ロバの耳』相談2件実施 |
| 一人暮らし高齢者等実態把握 | 〇406件実施 | ○独居高齢者一覧に基づく実態把握　769件のうち独居見守り359件 | ○独居高齢者一覧に基づく実態把握　304件 |
| サロン等地域づくり | 〇サロン開催5件  〇地域リハビリテーション活動8件  〇通いの場：新規2か所立ち上げ実施  〇生活アンケート1か所『地域ケア会議』として定期的に話し合い実施 | ○サロン開催　11件  ○地域リハビリテーション活動…生活支援コーディネーターと連携にて6か所実施  〇通いの場…新規3カ所立ち上げ実施  ○生活アンケート実施1か所、地域の自主ボランティア立ち上げ実施 | ○サロン開催　9件  ○地域リハビリテーション活動…生活支援コーディネーターと連携にて7か所実施  ○いきいき百歳体操…12か所、新規2か所立ち上げ  ○生活アンケート等にて地域課題の抽出を行い、生活支援サービス、ボランティアの立ち上げ等取り組み実施 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 住まいの  生活支援事業 | **令和6年度** | **令和5年度** | **令和4年度** |
| 転居等に関する  総合相談 | 相談件数46件  成約件数19件 | 相談件数：29件  成約件数：6件 | 相談実人数：26人  成約人数：7人 |
| 広報及び  体制構築活動 | ○奈良県社会福祉協議会よる、町村部における生活困窮者自立支援事業の住居確保等支援事業の一部の再委託  →事業終了 | ○奈良県社会福祉協議会より、町村部における生活困窮者自立支援事業の住居確保等支援事業の一部を再委託 | ○奈良県社会福祉協議会より、町村部における生活困窮者自立支援事業の住居確保等支援事業の一部を再委託  ○家賃債務保証業者との協定調整 |
| 外部発信 | 〇奈良県居住支援協議会  〇全国居住支援法人協議会  〇奈良県居住支援サミット実行委員会  〇奈良県居住支援サミット（シンポジスト）  〇静岡県宅建協会  〇天理市なんでも相談会実行委員  〇「奈良県における今後の居住支援対策案」にかかるご意見をいただく会  〇「newsおかえり」取材、放映  〇「読売新聞」取材、記事掲載 | 〇鳥取県居住支援協議会セミナー講師  〇天理市なんでも相談会実行委員  〇第3回居住支援サミット実行委員、パネリスト  〇全国居住支援法人協議会アドバイス事業講師  〇奈良県社会福祉協議会「生活困窮にかかる住まいの学習会」講師  〇奈良県居住支援リーダー研修会実行委員  〇けんりようごねっと奈良学習会講師 | ○全国居住支援法人協議会アドバイス事業講師  ○第2回奈良県居住支援サミット実行委員、パネリスト  ○令和4年度奈良市地域自立支援協議会 地域移行グループ学習会講師  ○「関西情報ネットten」取材、放映 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 天理市生活支援体制整備事業 | **令和6年度** | **令和5年度** |
| 地域資源、ニーズ把握、関係団体との連携等 | 〇各種団体の会議等に参加し関係性の構築、地域の情報の共有 | 〇各種団体の会議等に参加し（のべ12回）関係性の構築、地域の情報の共有 〇茶話会等実施し、ニーズ把握 |
| 地域の支え合い、介護予防推進に関する普及啓発 | 〇福住公民館祭り・山田公民館祭りでのブース展示、モルック体験会実施 | 〇出前講座…介護予防教室を４カ所実施。  〇福住公民館祭り・山田公民館祭りでのブース展示、モルック体験会実施  〇各種イベントへの参加…かくれんぼ・アルツハイマーディ・RUN伴・ボランティアの集い |
| 通いの場創出、後方支援 | 〇相談・成約件数（のべ）…９０件  〇通いの場新規立ち上げ…２件 | 〇通いの場新規立ち上げ…４件（福住校区２カ所、井戸堂校区２カ所）地域診断による「通いの場空白地」へアプローチ行い新規立ち上げを実施。  〇通いの場後方支援…既存の通いの場への定期的な訪問を実施することと併せて、地域リハビリテーション事業（体力測定）を９カ所で実施。  〇サロンの開催等支援…プログラムの内容相談等、後方支援を実施。 |
| 生活支援等サービスの実施、担い手の養成 | 〇生活支援サービス  〇ポイント券の販売 | 〇生活支援サービス…のべ81回実施（継続支援57件、単発支援24件）  〇ポイント券の販売…20人に対し、計３５６枚89000円を販売。ポイント券の管理と売上金の管理を行った。  〇担い手の養成…やすらぎ会職員有志・OBに向け「てんさぽ養成講座」を実施。１９名が登録し、専門性を活かした幅広い支援を実施。 |
| ＣＳＷ活動、その他地域づくりに関する取り組み | 〇CSW活動 | 〇CSW活動…個別支援の必要な３名の方を関係機関へ繋ぐ  〇みんなの学校プロジェクト…東部地域包括支援センターと協働で、福住中学校１年生に向けて４コマの福祉授業を実施。地域の支え合いに関する講話を担当。中学生と地域の方（GHむつみあいからも２名参加）と一緒にモルックを実施。  〇福住上入田地区で住民ボランティアの立ち上げを支援。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 法人後見事業 | **令和6年度** | **令和5年度** |
| 受任件数 | 1件（類型：保佐） | 1件（類型：保佐） |

**4．年間実施行事**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(敬称略)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 法人内行事 | 定例行事 | ボランティア等主催行事 |
| 4 | 入職者式・花見行事 | 月次祭  講社祭  特養フロアレクレーション  CH懇談会  GHなごみ筒井避難訓練（日中、夜間） | 全教一斉ひのきしんデー |
| 5 | GHむつみあい開設記念式典・GHむつみあい総合訓練 |  |
| 6 | 消防設備点検・CH総合訓練 |  |
| 7 | 職員健康診断・地域交流グランドゴルフ大会 |  |
| 8 | 特養,GHなごみ筒井夏祭り・GHむつみあい総合訓練・非常時災害対応訓練 |  |
| 9 | CH夏祭り・敬老関連行事 |  |
| 10 | GHなごみ筒井運動会・地域交流グランドゴルフ大会・ＢＣＰ想定訓練 |  |
| 11 | 利用者採血・利用者、職員インフルエンザ予防接種・ＧＨむつみあい秋祭り |  |
| 12 | 創立49周年記念式典・特養、GHむつみあい、なごみ筒井クリスマス行事・CH夜間総合訓練・福住3施設合同夜間避難,通報訓練 | 天理市長寿会訪問 |
| 1 | 元旦祭・特養、CH、GHなごみ筒井正月関連行事 |  |
| 2 | 節分行事 |  |
| 3 | ひな祭り行事 |  |

※GH（グループホーム）、CH（ケアハウス）

**5．職員採用・退職状況**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 採　用　者 | 退　職　者 |
| 特養介護員 | 7名 | 10名 |
| 特養管理栄養士 | 1名 | 1名 |
| GH介護員 | 7名 | 7名 |
| 合　　　　計 | 15名 | 18名 |

**6．実習受入状況**

|  |  |
| --- | --- |
| 実習機関及び実習名称 | 担　当　者 |
| 天理医療大学　看護学科生 | 畝本　智美 |
| 天理教校　本科実践課程 | 白須　真人 |
| 奈良介護福祉中央学院 | 岡田　修治 |
| 天理大学 | 辻本　健二 |
| 東京通信大学 | 樋口　雅史 |

**7．会議実施状況**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 法　人 | 職員会 | 特に周知を必要とする情報及び責務等についての徹底を図るとともに、労務及び福利等に関して、全職員が一同に会して議論共有する。 |
| 各職種責任者会議 | 職種の現況における課題に基づき、主担当者間にて情報分析と課題の解決に向けた議論や提議を行うことを目的に年数回程度開催する。 |
| 三施設 | 特養関連会議 | 特養関連部署間で、部署間の連携を深め共通の課題・目的等を共有し、相互関係が創出できることを目的に開催する。 |
| 求食会 | 利用者様の「食」に関する課題解決のために、2～3ヶ月に1回程度、栄養士や調理員が中心となり、各職種間で意見交換を行う。 |
| 特　養 | 入所検討委員会 | 介護保険法に基づき、月1回程度、施設入所の選考にる事務を実施するとともに入所全般の業務を円滑に行うことを目的に開催する。 |
| 各階カンファレンス | 利用者様との契約として必須であるケアプラン策定のために、介護支援専門員主導のもと、関連職種が処遇上の意見交換を行う。 |
| 看護室会議 | 特養看護職員が看護に関わる業務を円滑に行うために、月1回程度、全スタッフの情報交換と意思疎通を図ることを目的に開催する。 |
| 各介護員会 | サービスの質を高めるとともに業務行動としてのレベル向上を目的に、月1回程度、各フロア・ユニット介護員が議論共有することを目的に開催する。 |
| グループホーム | 責任者会議 | 責任者・ユニットリーダーが入居待機者や行事全般及び各種事業改善のために月１回程度情報共有と意見交換することを目的に開催する。 |
| グループホーム　　定例会議 | 事業全般に関わる業務を円滑に行うために、月1回程度、全スタッフの情報交換と意思疎通を図ることを目的に開催する。 |
| 運営推進会議 | 地域密着型サービス特性を活かし、入居者様・職員・理市介護福祉課・地元地域民生児童委員がグループホームの運営について情報共有を図り、地域に開かれたグループホームとすることを目的に開催する。 |
| ケア  ハウス | ケアハウス会議 | ケアハウス事業全般に関わる業務を円滑に行うために、月1回程度、管理者及び全スタッフの情報交換と意思疎通を図ることを目的に開催する。 |
| 在宅系 | 地域推進会議 | 在宅関連部署間で、各事業の独立性を活かしつつも、事業の運営の成果や課題を共有することで、枠を超えた連携を図ることを目的に開催する。 |
| 居宅関連会議 | 在宅に関連する職員が月1回程度会し、在宅事業におけるサービスの質の向上と危機管理の徹底を図ることを目的とする。 |
| 訪問  入浴 | 訪問入浴会議 | 訪問入浴事業全般に関わる業務を円滑に行うために、月1回程度、全スタッフの情報交換と意思疎通を図ることを目的に開催する。 |

**8．委員会等設置状況**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 各委員会 | | | |
| 事故対策委員会  （身体拘束等適正化委員会、虐待防止委員会、リスクマネジメント委員会） | サービス向上委員会 | | 防災防犯委員会 |
| 行事委員会 | 求食委員会 | | 入所検討委員会 |
| 福利委員会 | 広報委員会 | | 安全衛生委員会 |
| キャリアパス委員会 | メンタルヘルス委員会 | |  |
| 各部門管理者 | | | |
| 法令遵守責任者 | | 辻本　健二 | |
| 防火管理者 | | 河合　智哉 | |
| 介護労働者雇用管理責任者 | | 米田　敦志 | |
| 衛生管理者 | | 佐野　滋 | |
| 安全運転管理者 | | 白須　真人 | |
| 各担当者 | | | |
| 苦情受付担当者 | | 特養：菅野　光太郎　在宅：前川　真治  ＣＨ：吉田　昌美　　ＧＨ：森　　健一 | |
| 苦情解決責任者 | | 安田　直樹 | |
| パート労働者相談窓口 | | 杉浦　直子 | |
| ハラスメント相談窓口 | | 辻本　健二、杉浦　直子 | |
| 特定個人情報事務取扱責任者 | | 安田　直樹 | |
| 特定個人情報事務取扱者 | | 安田　直樹、東　栄都子 | |
| 雇用管理の改善等に関する事項に係る相談窓口 | | 安田　直樹 | |
| ストレスチェック実施者 | | カウンセリングストリート㈱ | |
| ストレスチェック事務従事者 | | 安田　直樹、東　栄都子 | |
| GHむつみあい計画作成担当者 | | 森　健一、榎田　智広 | |
| GHなごみ筒井計画作成担当者 | | 中村　太 | |
| 法人人事担当者 | | 辻本　健二 | |
| 法人労務担当者 | | 安田　直樹 | |
| 法令遵守担当者 | | 安田　直樹 | |
| ＰＣネットワーク管理者 | | 佐野　滋 | |
| 出張所総務担当 | | 前川　真治 | |
| グループホーム相談役 | | 辻本　健二 | |

＊　事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない